

作成日 : 1996年7月1日
改訂日 (V. 10BC) : 2023年8月23日

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : **グラステン粒剤**

会社名 : 日本農薬株式会社
住 所 : 〒104-8386 東京都中央区京橋 1丁目 19番 8号 京橋OMビル
担当部門 : 環境安全・品質保証部
TEL. 050-3490-3494
e-mail: kankyuanzen@nichino.co.jp

緊急連絡電話番号 : (平日) 050-3490-3494 (環境安全・品質保証部)
(休日、夜間) 04-2929-8961 (A L S O K)

推奨用途及び使用上の制限 : 農薬(芝用殺菌剤)、農薬登録以外の使用は不可
SDS番号 : 508-10(M69)

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性	引火性固体	区分外
健康有害性	急性毒性(経口)	区分外
	急性毒性(経皮)	区分外
	急性毒性(吸入: 粉じん、ミスト)	区分外
	生殖毒性	区分2
	発がん性	区分1
環境有害性	特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分1(呼吸器系)
	特定標的臓器毒性(反復ばく露)	区分1(呼吸器系、腎臓)
	水生環境有害性(急性)	区分3
	水生環境有害性(長期間)	区分3

上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語	危険
危険有害性情報	生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い
	発がんのおそれ
	臓器(呼吸器系)の障害
	長期にわたる、又は反復ばく露による臓器(呼吸器系、腎臓)の障害
	水生生物に有害
注意書き	長期継続的影響によって水生生物に有害

【安全対策】

- 使用前に取扱説明書を手に入ること。
- 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
- 保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。

- 粉じんを吸入しないこと。
- この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
- 取扱い後は手をよく洗うこと。
- 必要なとき以外は環境への放出を避けること。

【応急措置】

- ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診断を受けること。
- 気分が悪いときは、医師の診断を受けること。

【保管】

- 施錠して保管すること。

【廃棄】

- 内容物、容器を法、条例等に従って安全に処理する。または都道府県知事等の許可を受けた専門の産業廃棄物処理業者に委託して適切に処理する。

他の危険有害性：特に無し。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区分：混合物

有効成分化学名（一般名）

- 1) α, α, α -トリフルオロ-3'-イソプロポキシ-*o*-トルアニリド
（一般名 フルトラニル）
- 2) ジイソプロピル-1,3-ジチオラン-2-イリデン-マロネート
（一般名 イソプロチオラン）

成分及び含有量：

成分	含有量	CAS No.	安衛法 No.	化審法 No.
フルトラニル	5.0%	66332-96-5	4-(7)-1442	(3)-3925
イソプロチオラン	4.0%	5012-35-1	8-(6)-21	—
〈その他〉				
非イオン系界面活性剤	0.2%	非公開		
結晶質シリカ	85.2%以下	14808-60-7	既存物質	(1)-548
鉱物質微粉等	残	—	—	—

4. 応急措置

眼に入った場合：直ちに清浄な流水で数分間洗浄する。眼球、まぶたの隅々まで水がよく行きわたるように洗う。コンタクトレンズを着用していて容易にはずせる場合ははずし、その後も洗浄を続ける。医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合：汚染された着衣、靴等を速やかに脱がせ、付着部を多量の水と石鹼でよく洗浄する。異常が現れた場合には、医師の診断を受ける。

吸入した場合：被災者を直ちに空気の新鮮な場所へ移す。咳が出るなど異常がある場合は医師の診断を受ける。

飲み込んだ場合：カップ1～2杯の水を与え希釈する。異常があれば、医師の診断を受ける。意識の無いときには、口から何も与えてはならない。

5. 火災時の措置

消火時の注意：消火活動には適切な保護具（自給式呼吸保護具等）を着用する。蒸気、煙等の吸入を避ける。燃焼又は高温などにより有毒な気体（硫黄酸化物、フッ化水素、等）を生成する。消火水が下水や河川に流れ込まないよう適切な処置をとる。

消火剤： 粉末、泡沫、炭酸ガス、水
 使ってはならない消火剤： 情報なし。

6. 漏出時の措置

付近の人を風上に避難させ、漏出現場への立ち入りを禁止する。適切な保護具（保護衣、保護眼鏡、保護マスク等）を着用して、眼や皮膚に触れたり、ガスや粉じんを吸い込まないようにする。漏出物が飛散しないように集め、密封できる容器に回収する。その後、汚染された場所を水で洗う。漏出物や洗浄水等が河川、下水等に流出し、環境へ影響を与えないように措置する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い： 局所排気装置を設置し、換気のよい場所で行う。適切な保護具を着用し、ガスや粉じんを吸い込んだり、眼、皮膚に触れないようにする。作業後は、すみやかに眼、手、顔を洗い、うがいをする。

保管： 容器を密閉し、換気のよい冷暗所に保管する。食物、飼料等と離し、無関係者、子供の手の届かない所に施錠して保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策： 局所排気装置を設ける。取扱い作業場の近くに洗眼、洗面、安全シャワー設備を設置する。

個人用保護具： 状況に応じた適切な保護具を着用する。保護マスク、保護眼鏡、保護衣（不浸透性）、ゴム手袋
 作業時に使用していた衣類等は他のものと分けて洗濯する。

9. 物理的及び化学的性質

外観： 淡褐色細粒
 臭い： 特異臭あり。
 比重： データ無し。
 pH： 5.0～9.0
 引火点： 該当しない。
 自然発火性： 常温で空気と接触しても自然発火しない。

10. 安定性及び反応性

化学的安定性： 通常の実験条件では安定。
 危険な反応： 知られていない。
 危険有害な分解生成物： 燃焼又は高温などにより有毒な気体（硫黄酸化物、フッ化水素、等）を生成する。

11. 有害性情報

急性経口毒性： ラット LD₅₀ 値 (mg/kg) ♂, ♀ > 5000（死亡例及び中毒症状無し）
 マウス LD₅₀ 値 (mg/kg) ♂, ♀ > 5000（死亡例及び中毒症状無し）
 急性経皮毒性： ラット LD₅₀ 値 (mg/kg) ♂, ♀ > 2000（死亡例及び中毒症状無し）
 急性吸入毒性： 1%以上含有され、毒性情報のある成分は区分外のフルトラニル原体のみであることから区分外とした。毒性未知成分量は 95%。
 皮膚腐食性及び皮膚刺激性：
 データ無し。
 眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性：
 データ無し。

- 皮膚感作性： データ無し。
- 生殖毒性： 区分2に分類される非イオン系界面活性剤を濃度限界である0.1%以上含有することから区分2とした。毒性未知成分量は90.6%。
- 発がん性： 区分1Aに分類される結晶質シリカを、濃度限界以上含有することから区分1とした。
- 特定標的臓器毒性(単回ばく露)
区分1(呼吸器系)に分類される結晶質シリカを、濃度限界以上含有することから区分1(呼吸器系)とした。
- 特定標的臓器毒性(反復ばく露)
区分1(呼吸器系、腎臓)に分類される結晶質シリカを、濃度限界以上含有することから区分1(呼吸器系、腎臓)とした。

12. 環境影響情報

- 水生環境有害性(急性)：
急性区分2及び3に分類される成分含量合計から推定し、区分3とした。毒性未知成分は90.7%。
- 水生環境有害性(長期間)：
慢性区分2及び3に分類される成分含量合計から推定し、区分3とした。毒性未知成分は90.7%。
- 生態毒性： 製剤のデータ無し。
- 残留性・分解性： 製剤のデータ無し。
- 生体蓄積性： 製剤のデータ無し。
- 土壌中への移動性： 製剤のデータ無し。
- オゾン層への有害性： 製剤のデータ無し。

13. 廃棄上の注意

- 法、条例等に従って安全に処理する。または産業廃棄物処理業者に委託して適切に処理する。
空容器：内容物を使い終わった後、適切に処理する。

14. 輸送上の注意

- 容器に漏れの無いことを確かめ、転倒、落下しないように積載する。

- 国連番号： 該当せず。
- 品名(国連輸送名)： 該当せず。
- 国連分類： 該当せず。
- 容器等級： 該当せず。
- 海洋汚染物質： 該当せず。
- 緊急時応急措置指針番号： 該当せず。

15. 適用法令

- 農薬取締法
毒物及び劇物取締法：毒物及び劇物に該当せず。
労働安全衛生法
表示対象物(法57条、施行令第18条)：フルトラニル(政令番号47)、イソプロチオラン(政令番号263)、結晶質シリカ(政令番号165の2)
通知対象物(法57条の2、施行令第18条の2)：フルトラニル(政令番号47)、イソプロチオラン(政令番号263)、結晶質シリカ(政令番号165の2)

化学物質排出把握管理促進法(化管法)

指定化学物質：イソプロチオラン(第一種・管理番号 191)、フルトラニル(第一種・管理番号 41)

16. その他の情報

参考文献

- 1) JIS Z 7252 2009、GHS に基づく化学物質等の分類方法
- 2) JIS Z 7253 : 2012、GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法—ラベル、作業場内の表示及び安全データシート (SDS)

本データシートの記載内容は、この化学品の取扱い時の安全性に関する参考情報であり、安全性や品質の保証をなすものではありません。また危険性、有害性の評価は、必ずしも充分ではありませんので、取扱いには充分注意を払って下さい。